

第5回 第3次日野市立図書館基本計画策定委員会

日時……平成30年2月3日（土）10：00～

場所……中央図書館集会室

出席者…委員8名（山口 戸崎 大矢 小形 石川 田代 岡元 飯倉）

事務局4名、オブザーバー（㈱ぎょうせい1名）

欠席者 金子、小林

配布資料確認

- ・資料1：パブリックコメントによる募集意見と回答
- ・資料2：データ集・資料

1. 議題

（1）第3次日野市立図書館基本計画 パブリックコメントの結果について

○事務局：資料1について説明。

【パブリックコメントの方法や回答状況について】

- ・11名の方から意見があったが、これは多いのだろうか。⇒他の計画と比べると、多いと言える。
第1次の時は12名からの意見があった。
- ・意見があった11名の内訳はわかるか。居住地や性別・年齢別はわかるのか。⇒市民7名、市外の方4名である。今回の意見には組織票的な意見も無く、ここには記載していないが図書館に対するお礼や激励の意見も多くいただいている。
- ・一般的にパブリックコメントは属性の記載は求めない。意見を出しやすくする意味もある。
- ・パブリックコメントの意見は自由記述か。⇒そのとおり。
- ・パブリックコメントの回答については、ホームページで掲載するのか。⇒本日議論していただいた結果を踏まえたものを内部決裁して、ホームページに掲載することになる。

【2番：図書館の運営について】

- ・委員会の中で実施に議論した経緯があるので、回答案の中に「委員会でも議論があり意見交換もされたが・・・」という一文を加えてはどうか。⇒「・・・目的に策定するものです。策定委員会の中でも議論があり 様々な意見交換をしてきたところです。しかし、今後の課題もあり第5次・・・」という表現に変えたい。

【6番：研修室の無料利用について】

- ・研修室を無料で貸し出すというのはやめていただきたい。ただでさえ狭い読書スペースが研修のためさらに狭くなるという実情がある。特に高幡図書館についてはそう思う。⇒図書館法では市民の活動を後押しするものである、と位置付けられている。そういう活動が有るか無いかということで図書館活動の広がりが違ってくると思われる。また、そのような活動が可能性を広げる場所だとも思うので、研修室を無くす方向では考えていない。
- ・本がある中で、イベントや研修等を行うことに意味があるので必要だと思う。

- ・自由に使える多目的スペースの場が少ないことは事実である。国分寺市では図書館と公民館一緒に使っているが、相互に使いづらいという話が出たことはある。相互に自由に使えるようなあり方は必要と思われる。有料・無料の議論については図書館法にもとづいて無料が基本である。

【17 番：図書の保存・除籍について】

- ・「定期的な図書の保存・除籍の仕分けに取り組みます」という表現を「必要に応じて取り組みます」に変更するとの事だが、確かに政府の指針でもその方針を出しており、悩ましいところではあるが、文言としてはこれしかないと思う。
- ・但し、何かあった時に責任問題がでてくる可能性があるので、内規は作っておいた方が良い。何かあった時にも内規があれば適切に説明できる。資料保存の在り方ということで言えば、郷土資料館もあるので、連携も必要ではないか。「郷土」という視点でいえば、郷土資料館には収蔵スペースもあるので、関係も明確にした方がいいかもしれない。⇒日野市立図書館では「収集方針」を定め、資料別の選定基準や除籍基準を定めるとしている。現在、明文化する作業を行っている。市民からも関心が高く、なぜ処分するのかとか、なぜこれは買ってあれは買わなかったのかという問い合わせはある。郷土資料館には収蔵庫もあるので、保存すべき資料は郷土資料館に残している。図書館は「貸す」という視点が基本となる。
- ・郷土資料館には歴史的な資料が多い。市政図書室の所蔵資料はまさに行政文書的なものや市政に関するものとなる、このようなものは郷土資料館では保存しない。⇒行政資料の中でも貸出の対象にはなりそうになくても、とても古いものが出てくることがある。その時には学芸員と相談し、適宜保存が必要なものは郷土資料館で保存している。また、将来的にはデジタル化も検討している。
- ・大学でも以前デジタル化を検討したことがあるが、デジタルはメディアが劣化するので、結果的にはやらないということになった経緯もある。
- ・歴史的な資料については、保存の問題も今後考えていく必要があるが、いわゆる一般的な資料については、他館との連携も含めて対応できる方策が必要ということだろう。⇒多摩地域の図書館で連携して保存されている状態にしようという取り決めを行っている。但し、どこの図書館の収蔵スペースも満杯状態になっているので、見直しは必要である。
- ・本体の文言を変える必要は無いが、パブリックコメントの回答に多摩地域の図書館で取り組んでいる状況を加えたらいいのではないかな。
- ・「必要に応じて」というところに、「基準に応じて」という文言を加えてもいいのではないかな。
⇒「他の図書館とも協力しながら、一定の基準に基づいて」という表現にしたい。
- ・PDFにして、アーカイブ化する方法はいいかな。⇒著作権の問題があり難しい。図書館の場合は、無料で大量の方に提供するということになるので、なおさら問題となる。
- ・図書館の書庫が一杯になった時に、使っていない小学校の利用は考えられないか。⇒既に旧平山台小学校の3階の一部を使わせて頂いている。但し、日常的に利用するものは難しいので、保存を中心にしたものとなっている。
- ・「定期的な」という表現は少し冷たい印象を受けるので、「必要な資料については貸出しやすくしています」という感じでいいのではないかな。

【20 番：レファレンスコーナーについて】

- ・スペースの問題ではなく秘密性の問題ではないか。実際の現場で「人に聞かれたくないので」ということで別の場所に移動するようなことではないか。⇒プライベートな質問も確かにある。但し、福祉部門のように個室を設けるのは逆に敷居が高くなるのではないかと考える。衝立くらいはあってもいいかもしれない。リニューアルプランを検討する中で考えたいという回答をしている。
- ・困っている時に図書館に来るというのは、頼りにされているということでもあり、対応は大切にしたい。
- ・今の状況においても、職員研修の一環として、そのような点への配慮は十分に伝えた方が望ましい。⇒センシティブな問題に対し、職員が十分に配慮することは書き加えておきたい。
- ・情報リテラシーの弱い人の問題だと思う。話がしやすい雰囲気を作っていくということが重要である。

【21 番：図書館職員のスキルアップについて】

- ・「図書館サービスに関する専門的研修からら接遇研修をはじめ」という回答案は「・・・専門的研修や（又は「、」）接遇研修をはじめ・・・」の方がいいのではないか。
- ・現在の回答案を活かすのであれば「・・・専門的研修から、接遇研修を・・・」でもいいかもしれない。
- ・「近年図書館職員に」というのは、職員により高いスキルが求められている、という文脈と捉えていいのか。であるなら「近年図書館職員に、」句読点を付けるか「・・・職員に対して」と書き直すか、どちらかだろう。⇒「・・・図書館職員に対してより高度で・・・」と「・・・図書館を支える力量が求められています」。「・・・専門的研修や接遇研修・・・」に変更したい。

【29 番：活字離れ阻止や本や新聞に親しむキャンペーンについて】

- ・このような基本計画をつくって取り組んでいくことが大事なことだということなので、この回答がいいと思う。
- ・発言の意図は、^{いえどく}家読や昔でいえば 20 分間読書みたいなことをやることにより、意識を高めていくことの意味あいと言っているのではないか。
- ・家庭で読書を広めたり、最近学生の間ではビブリオバトルがはやっているが、そのような活動は新しい発見がありいいことだと思う。積極的に図書館側から打ち出していくことが大切である。⇒教育現場との協力は、子ども読書活動推進計画の中で行っている。

【31 番：本の貸し出し期間について】

- ・本によっては2週間もいないものもあると思われるが、実態はどのようになっているのか。⇒貸出期間については、読んでいる時間だけではなく、「借りて返しに来てもらう」という時間で考えた時に、アンケートなどを見ると来館する頻度は2週間に1度といった傾向が多い。そのような事も加味して現在決めている。
- ・移動図書館も、1回外すと次は1か月後だったりする。貸出期間を変更するとまた混乱も起きるので、あまり変えるべきではない。⇒他の事例をみると一般的に多いのは2週間である。中には3週間があつたり本の種類によって期間を分けている例もあるが、煩雑になってしまうき

らいがある。

- ・大学では学術書であることもあり 1 か月としている。ある図書館では早く読み終わった場合は、早く返していただく御願いをしている例も聞く。

(2) データ集等について

○事務局：資料 2 について説明。

- ・「人口・登録率」のグラフでは、登録率の意味を明記しておいた方がいい。⇒そのように補足する。
- ・計画書には 5 年間の統計でいいと思うが、「これまでの統計を見たい方は〇〇をご覧ください」という一文があった方がいいのではないか。⇒そのように補足する。
- ・委員会の開催状況の中に、各館の見学会等行ったことや開催時間も入れてもいいかもしれない。さらに職員ワークショップやアンケート調査など、他の地域ではあまり見られない取り組みをしたのだから、そのような事も記載していいのではないか。⇒「委員会開催状況」ではなく、「策定経過」として今ご指摘のあったような内容に変更したい。
- ・グラフで、座標軸が「0」になっていないものがあるので、一番下は「0」にして波線処理にしてはどうか。⇒工夫したい。
- ・各館の統計やレファレンスの件数などもあってもいいのではないか。⇒レファレンスサービス等については委員長からもご指摘を頂いているところではあるが、各館によって統計の取り方が違うこともあるので、各館別に提示するのは控えたい。
- ・用語集に「PlanT」入れた方がいい。「レファレンス」ではなく「レファレンスサービス」がいいのではないか。「ワークショップ」や「PDCA サイクル」もあった方がいい。さらに必要に応じて読み方や正式名称も加えた方がわかりやすいものもある。⇒データ集等については、再度見直し修正する。

以上